

令和2年度実施 学校評価アンケートの経年比較結果について

佐沼高校定時制課程

アンケートの質問項目（□は県全体の共通項目）

- 1 学校の教育方針・教育目標は分かりやすく示されている。
- 2 学校は、生徒一人ひとりが生き活きとした学校生活を送れるように配慮している。
- 3 生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている。
- 4 学校は、学習に対する望ましい習慣や態度の育成に努めている。
- 5 生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。
- 6 学校として、部活動は活発に行われている。
- 7 学校として、生徒会活動は活発に行われている。
- 8 自分にとって、有意義な学校行事がある。
- 9 生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じる体制ができている。
- 10 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。
- 11 学校は、生徒の健康・精神状態を的確に把握するよう努めている。
- 12 生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。
- 13 学校は、就職・専門学校・大学入試などについての的確な情報を提供している。
- 14 生徒の進路について相談に応じる体制ができている。
- 15 学校職員の電話対応は適切である。
- 16 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。
- 17 生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。
- 18 保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。
- 19 学校として、PTA活動は活発である。
- 20 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。
- 21 給食は、生徒が食べやすいように工夫されている。
- 22 自分にとって、学校生活は充実している。

集計結果から

生徒

- 「部活動」の項目を除き、肯定的評価が約90%に達しており、概ね好評価を得ている。
- 「総合満足度」での肯定的評価は2年連続で90%を超えている。
- 「部活動」については夜間定時制課程であることから制約が多く、肯定的評価を得にくいと思われるが、生徒の実情を踏まえて可能な範囲での活動を促したい。
- 昨年度は、「いじめの早期発見への取組」についての肯定的評価の割合がやや低かったが改善した。日頃の関わり方に加え、アンケートの内容や実施時期の工夫等の改善策も奏功したと思われる。

保護者

- 概ね生徒と同様の傾向が見られる。「総合満足度」については2年間連続して肯定的評価が90%を超えており、学校生活を通じた生徒の変容が保護者に実感されているものと考えられる。
- やはり「部活動」についての項目で肯定的評価がやや低いいため、生徒の実情を踏まえて可能な範囲での活動を促すことで改善を図りたい。